

まるこ福祉会が子どもレストラン

パン作りや集団遊び楽しむ



集団遊びをする子どもたち

ご購入申し込みは●読売上田サービスTEL0268(

ウイルスの影響で室内の生活が続いた子どもたちのために、近くの広大などんぐり山で自然探検をしようと計画していたが、雨のため室内での活動となった。

小学生30人と長大生らボランティア45人が参加。小学生は生地を成形してコッペパン作りをしたあと、集団遊びをした。遊びは特別講師のアウトドアスポーツ体験会の田

中崇さん(66)が考えた「来るなコロナ」と(二社)アフタフ・バーバン信州の清水洋幸さん(41)のフライングディスクを使ったドッチボール「ドッチビー」で思い切り飛び回り汗を流した。

昼はカレーライスとサラダ、自分で焼いたコッペパンを食べた。父親の田中健治さんと参加した同市東小3年の暖人くんは毎回参加している。「遊びが楽しかった」。長大2年の鯉沼舞帆さんは茨城の出身。今回3回目の参加。「普段、子どもたちとふれ合う機会がないので楽しかった」と感想。

上田市長瀬の社会福祉法人まるこ福祉会(柳沢正敏理事長)は

22回目の子どもレストランを4日開いた。今回は、新型コロナ

スポート体験会の田